

●1分で見える世界景気／2019年2月末から見た2019年3月動向

※3月は米中貿易交渉、ブレグジット交渉の節目月。日本は中盤、後半の先読みをしながらの一手が打ち出せるか。

欧
州

英国/EU離脱延期か？

・GDP18年+1.4% (前年より0.4p減)

EU ・2月の製造業購買担当者景気指数 (PMI) 49.2 (前月比1.3ポイント減)
2013年6月以来の低水準

●主要国2019年GDP下落予想 (IMF)

・仏/1.65%→+1.5%

・伊/1.3%→0.8%

・独/1.7%→1.7%

・EU全体/1.7%→1.6%

欧州中銀

・緩和縮小修正を3月検討

中国

米中貿易摩擦が多方面

に波及…**経済減速鮮明に**

●18年GDP+6.6%

(昨年比▲0.2ポイント)

※1990年以来の低水準、28年ぶり

※18年自動車販売台数も

▲3%で28年ぶりのマイナス

●住宅大手4社の販売額減速

※19年1月は前年同月比3割超減少

●19年1月の新築住宅価格8都市で下落

・資金調達 (社会融資規模) が1年半

ぶりに拡大へ、過剰債務膨張の懸念も

・オーストラリアからの石炭禁輸へ

トランプ政権

米国

・対中貿易交渉は期限延長&首脳決着か

地政学&**米中貿易摩擦**

雇用増加が全体を牽引

・1月雇用増加数+30.4万人 (12月+31.2万人)

・1月失業率4% (12月3.9%)

・1月平均時給+3.2% (前年同月比)

・12月新車販売台数+1.5% (前年同月比、11月▲0.8%)

・12月消費者物価指数+1.6% (12月+1.9%)

FRB/利上げ見送り、

資産縮小年内終了へ

日本

地政学&中国景気減速

戦後最長74ヶ月の景気拡大を達成

・12月/有効求人倍率1.63倍、失業率2.4%

※19年度/GDP見通し+1.3%

●日銀 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続

※2019年度物価見通し+0.9%

①フォワードガイダンスの導入

②短期金利 (-0.1%)、長期金利を0%へ誘導

③長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に

③長期国債、ETF、J-REITの買い入れは柔軟に

新興国

●東南アジア5カ国の18年GDP+4.8%

(3年ぶりに前年実績下回る)

●東南アジア主要6カ国の18年新車販売台数が+6%

●インド利下げ、メキシコ&ブラジルは利上げ見送り

●オーストラリア/19年GDP予測+3.25%→+3%へ

金利下げ